

(3) 令和6年度の取組について

令和6～8年度の中期計画（杉並区実行計画案より）【公民連携したモビリティの喚起】



グリーンスローモビリティ

- ・ 荻外荘開園に向け、R6.11本格運行
⇒ ゆっくりである事の価値
（新たな移動の価値を提供）
- ・ まずは、荻窪地域での確かな実装

AIオンデマンド交通

- ・ 5つ交通不便地域
（善福寺、本天沼・清水、上荻・西荻北、南荻窪・宮前、堀ノ内・松ノ木）のどこかで、『急がない乗り合い交通』として **R6年度中実証開始**を目指す
- ・ 生活の軸としてもらうには時間がかかる
⇒ 2か年ほど長期の実証

自動運転

- ・ グリーンスローモビリティでの将来的な実装
（2030年Lv4実装する都内8地域内の一つ）
⇒ その後、オンデマンドなども視野に
- ・ **3D都市モデル**等の活用による
シュミレーションや安全対策、**社会受容促進**
- ・ 「地域の支えあい交通」等の安全補助

自転車フレンドリープロジェクト

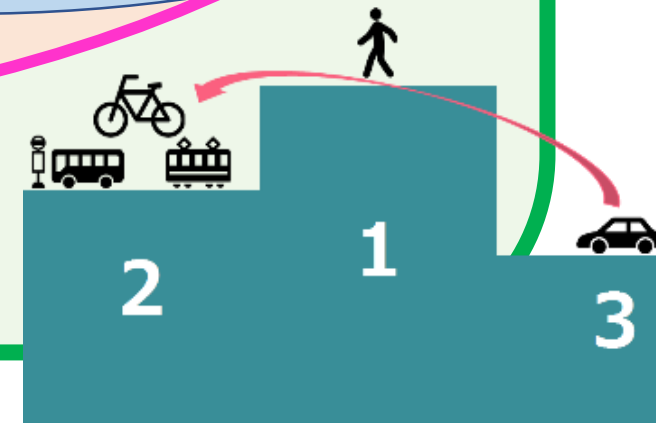
- ・ 住宅都市ならではの、
自転車が愛される文化をつくっていく
（カーゴバイク、じてんしゃゲームetc）
- ・ 走行空間や駐車場等（デジタル化等）の
ハード整備も促進

MaaS（1パッケージでのモビリティサービス）

- ・ 既存のデジタルプラットフォームの活用、データ連携（次項に事例）
- ・ グリスロやAIオンデマンドの予約・決済⇒ **商店街・健康・環境ポイント**
⇒ シェアサイクルを皮切りに、**バス、タクシー、自家用、鉄道との連携**

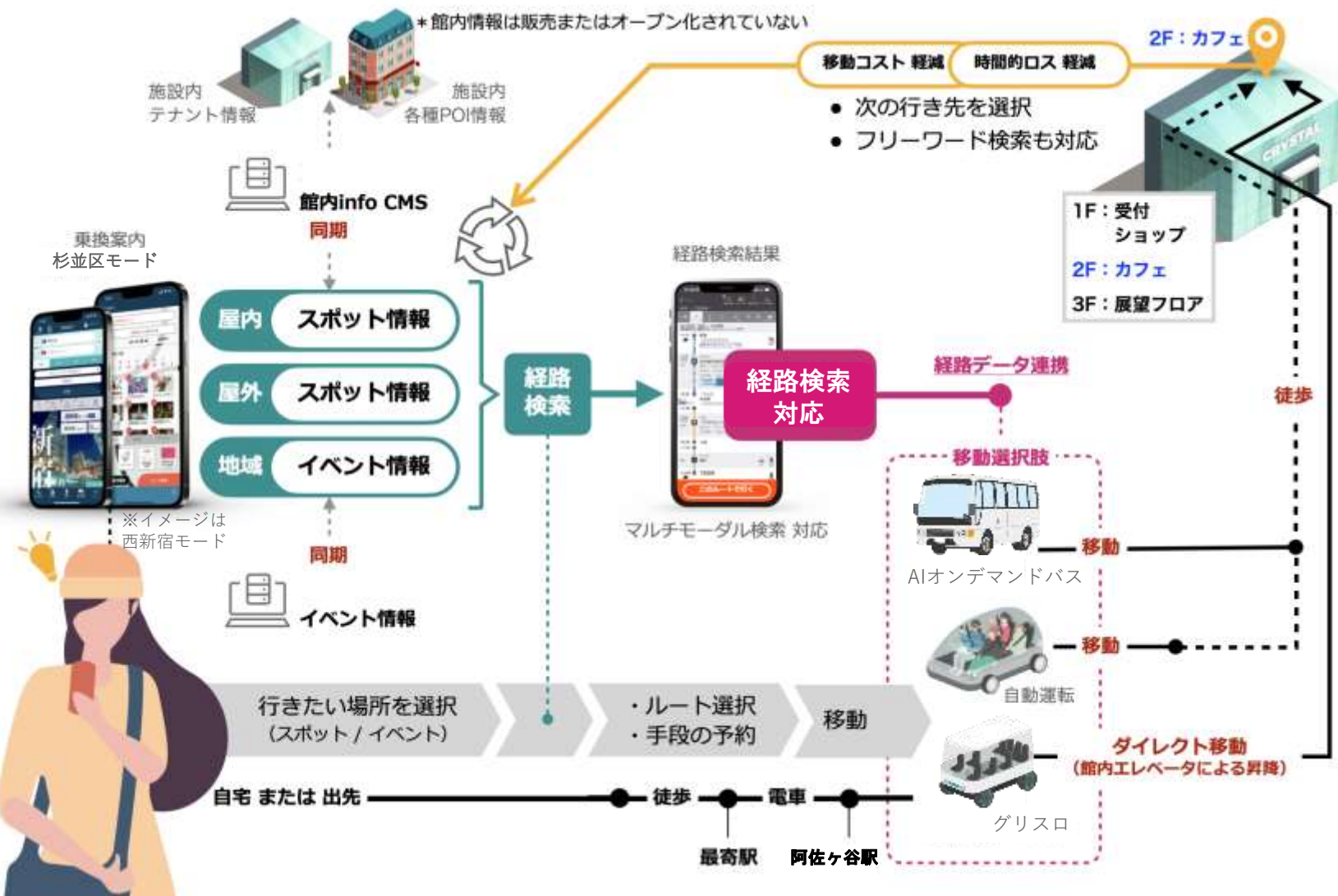
モビリティ・マネジメント（MM）

- ・ **移動総量の底上げ**、移動の選択肢の拡充、行動変容の仕掛けづくり
- ・ 「クルマ中心」から「人中心」へ、**公共交通や自転車をかしく選択**



必須要件

AIオンデマンド、グリスロ、自動運転などのNEWモーダルサービス連携。



経路を検索したら、そのまま自動運転やオンデマンドと接続!! 経路と連動した呼び出しが可能に!!

- ・ 経路結果データの連動を J MaaS プラットフォームから行えば、自動運転車両を呼び出すことが可能に。
- ・ 経路検索結果のデータは、カーナビゲーションとほぼ同じデータを保有。
- ・ これらのデータを連携することで、モビリティ側は「基礎命令データ」として受け取ることが可能であり、別のI/Fを新たに用意する必要もなく、経路上の情報確認と併せて、ワンストップで予約を完了する世界を目指す!!